

大和市総合防災訓練を開催

8月30日～9月5日は「防災週間」

市では、防災週間にちなみ、自主防災会や防災関係機関と連携して「大和市総合防災訓練」を実施します。

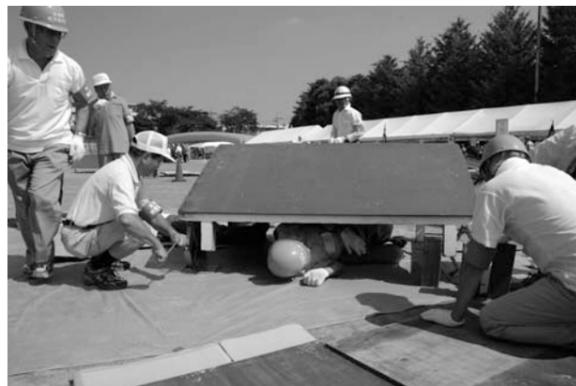
わたしたちが住む大和市は、東海地震や首都直下型地震をはじめとするいくつかの大きな地震の切迫性が指摘されています。

災害時に身を守るためには、日ごろからの心構えと備えが大切です。この機会に改めて、身の回りで起こりうる災害について考えるとともに、家具類の転倒や落下の防止など、災害に対する備えについて確認しましょう。

総合防災訓練にご参加を

訓練では、震度6強の地震が発生し、市内に大きな被害が生じたという状況を想定します。

地震などの大規模災害時の被災地では、家屋の倒壊などにより多数の負傷者が発生します。その一方で、被災による医療施設の機能低下や従事者の負傷などにより、十分な医療を提供できないことが予想されます。今回は、過去の教訓を踏まえ、消



倒壊家屋からの負傷者救出訓練(昨年の総合防災訓練)

防と自衛隊、災害救助犬などが相互に連携し、「被害を最小限に食い止め、一人でも多くの命を救うこと」をテーマに、倒壊建物などからの負傷者の検索や救助、医療救護などの実災害対応型の訓練を実施します。

また、会場には、防災関係機関のPRコーナーなども設置されます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき▼8月28日(土)午前9時～11時30分

ところ▼文ヶ岡小学校

※駐車場はありません。
※中止の場合は、防災行政無線と市のホームページでお知らせします。

防災訓練 災害ボランティアを募集

大和市総合防災訓練の一環として実施する、ボランティア支援本部設置訓練の「災害ボランティア」を募集します。希望者は、訓練当日の午前9時までに会場内に設置するボランティア支援本部に集合してください。

FMやまとで生中継

当日はFMやまと(77.7MHz)で、訓練のようすと市長から市民の皆さんへのメッセージが放送されます。ぜひお聴きください(天候などにより内容が変更される場合があります)。
※実際の災害時には、市内の詳しい災害情報をFMやまとでお伝えします。



訓練当日にはサイレンが鳴ります

午前9時に訓練のためのサイレンが鳴ります。実際の災害発生と間違えないように注意してください。

米海軍厚木航空施設と防災に関する覚書を締結

市は7月20日、米海軍厚木航空施設司令部と「災害対応準備及び災害救援の共同活動に関する大和市と米海軍厚木航空施設司令部との覚書」を締結しました。これは、災害時などの災害救援活動や事前の対策について相互に支援協力することを目的としたものです。

厚木航空施設は、災害時に備えた食料や水などを備蓄しているほか、災害用のさまざまな機材や設備を保有し、それらを扱う人員がいるなど災害時における支援能力があり、国

内外における災害支援活動の実績もありません。この覚書の締結により、本市において災害が発生した場合には、厚木航空施設からの支援が得られるなど、市の防災体制が充実することとなります。
市では今後、実際の運用に当たって必要な手続きを定めていきます。

関 市役所基地対策課基地対策担当
(2660)5310



覚書に署名する大木市長(右)とエリック W.ガードナー在日米海軍厚木航空施設司令官

優良建設工事表彰

平成22年度大和市優良建設工事表彰式が7月29日に市役所で開催され、5社が表彰されました。

この表彰は、市が発注した建設工事のうち、他の模範となる特に優れた工事の施工者を表彰することで、適正な工事の施工と技術の向上を図ることを目的としています。

式では、昨年度に工事を完了した150件の中から、大和市優良建設工事表彰審査委員会によって選ばれた5社に対し、大木市長から表彰状、感謝状および記念品が贈られました。

平成22年度被表彰者

- 大丸建設工業(株)：平成20年度引地川改修工
- ニッケン建設(株)大和本店：市立桜丘小学校体育館建替工事(建築)
- (株)渡栄土木：平成20年度雨水幹線築造工事(下鶴間排水区)第3工区
- (株)岡本舗装：平成21年度福田相模原線舗装補修工事
- (株)ナカムラ：市営つきみ野住宅屋上防水外壁塗装工事(1～3号棟)

関 市消防本部救急救命課救急救命担当
(2660)5751



心肺蘇生法を学ぶ(昨年の救急フェア)

救急フェアを開催

9月5日～11日は救急医療週間、9月6日は救急の日

救急医療や救急業務についての理解と認識を深めてもらうため、昭和57年に「救急の日」と「救急医療週間」が設けられました。

市ではこれに先駆け、救急フェアを開催します。ぜひご参加ください。

とき▼9月4日(土)午前10時～正午
ところ▼つきみ野サティ(つきみ野1-6-1)

内容▼
○1階催事場
AEDを使用した心肺蘇生法、AEDの展示、血圧測定など

○西側屋外駐車場
バイクやミニバト、消防車両(高規格救急車)の展示、シートベルト衝突体験など。

※雨天時は内容を変更することがあります。

「自助」と「共助」の大切さ

大災害が発生すると、交通網の寸断や同時に多発する火災などにより、消防や警察などの公共機関も、すべての災害には対応できません。まずは「自らの命は自らを守る」という「自助」の意識のもと、地震が発生した時でも冷静に行動できるようにしましょう。また、このようなきに力を発揮するのが、「地域ぐるみの協力」です。過去の災害でも、被災地の皆さんが自発的に救出・救助活動を行うことで、被害の拡大を防ぎ、多くの人命が救われました。「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の意識を持ち、災害時には、自治会、自主防災会など地域の人々が協力して救助や援護をすることが重要です。日ごろから住民相互の「ミニユニケーション」を図り、いざという時に備えましょう。

関 市役所危機管理課危機管理担当
(2660)5777